

大分教育事務所訪問 24

大分市立別保小学校から学ぶ

大分市最初の訪問は、児童数1,051名と大分市内（県内）で2番目に児童数が多い別保小学校です。活気ある子ども達の笑顔あふれる姿から私も元気を頂きました！！

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「心豊かで自主性に富み、よく考え学び合う、心身共にたくましい子ども」を育成するために、2人の教頭先生や主幹教諭が各種主任を取りまとめ、5つの部会が機動的に動いています。また、53名の職員の思いを揃えるために、「報告・連絡・相談」のシステムを徹底したり、校長先生は職員に対して、指導観や児童観に関わる資料を積極的に配布し指導力の育成を図っています。

今後は、学校経営計画表にある「取組項目（内容と目標値）」の中で、短期で検証ができそうなものは期間を決めて（2週間～1ヶ月）集中して行ってみたいはいかがでしょうか。そのことで、教職員も子どももより成長を感じたり、課題も絞られることで次に行うことが明確になり、取組項目の内容の質がより高いものになることでしょう。さらに、それらの取組（手段）により、子ども達にどのような「資質・能力」が育成されるのか（目的）を明確にすることで、「学校経営の重点（目標項目）」や、目指す子ども像に近づいていくことでしょう。

授業から学ぶ

多様な子ども達に対して、タブレットの活用やワークシートの工夫などを行っていました。また、子ども達も、それぞれ友だちの特性を理解しており、安易に流されることなく集中して学びに向かっていました。

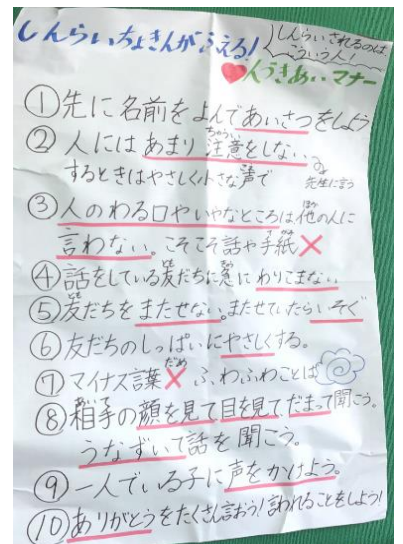
指導案は、ねらいがしっかりしているものが多く、本時でつけるべく「資質・能力」が明確です。今後は終末の「振り返り」は、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う子どものゴールの姿を子どもを主語とした言葉で明示すると、「めあて」との連動や、評価規準がより明確になり、本校の学校経営の重点（目標項目）である授業力の向上につながると思いました。



NO.123 2021年6月 大分市立別保小学校

指先をみると

真っ直ぐに腕を伸ばし、指先まで集中する。意欲や勇気が伝わる。



NO.124 2021年6月 大分市立別保小学校

学ぶ空気

自分の考えを思いっきり書けるのは、認めてくれる友だちがいるから。



NO.125 2021年6月 大分市立別保小学校

聴く集団

先生の説明を、目で耳で、心で聴く。そのような集団は成長する。